

1. 次の計算をせよ。

(1)  $\frac{x^2-8x-20}{3x^2+5x-2} \times \frac{3x^2-31x+10}{x^3-2x^2-80x}$

(2)  $\frac{x^2-2x}{x^2-x-12} \div \frac{x^2-4}{x^2+5x+6}$

2. 次の式を簡単にせよ。

(1)  $\frac{\frac{1}{1-x} + \frac{1}{1+x}}{\frac{1}{1-x} - \frac{1}{1+x}}$

(2)  $1 - \frac{1}{1 - \frac{1}{1-x}}$

3. 次の計算をせよ。

(1)  $\frac{x}{x+1} - \frac{1}{x+2}$

(3)  $\frac{4}{x^2+2x-8} - \frac{5}{x^2+3x-10}$

(2)  $\frac{1}{x^2+3x+2} + \frac{1}{x^2+5x+6}$

(4)  $\frac{x-1}{x^2+3x+2} - \frac{x-3}{x^2+4x+3}$

4. 次の等式が  $x$  についての恒等式であるとき、定数  $a, b, c, d$  の値を求めよ。

(1)  $(x^2-4x+a)(x+5)=(x-1)(x^2+bx+c)$

(2)  $x^3=a(x+1)^3+b(x+1)^2+c(x+1)+d$

5. 次の等式が  $x$  についての恒等式であるとき、定数  $a, b$  の値を求めよ。

$$\frac{a}{x+2} + \frac{b}{3x-1} = \frac{3x-8}{3x^2+5x-2}$$

6. 次の等式が  $x, y$ についての恒等式となるように、定数  $a, b$ の値を定めよ。

$$x^2 + y^2 = a(x+y)^2 + b(x-y)^2$$

7. 等式  $(a^2+1)x + (a^2+2a)y - 2a + 1 = 0$  が、どんな  $a$  の値に対しても成り立つように、 $x, y$  の値を定めよ。

8.  $a : b : c = 2 : 3 : 4$  のとき  $\frac{ab+bc+ca}{a^2+b^2+c^2}$  の値を求めよ。

9.  $a > 0, b > 0$  のとき、次の不等式を証明せよ。  $2\sqrt{a} + \sqrt{b} > \sqrt{4a+b}$

10. 次の不等式を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。

$$x^2 + y^2 \geq 2(x+y-1)$$

11.  $a > 0, b > 0$  のとき、次の不等式を証明せよ。  $\frac{b}{3a} + \frac{12a}{b} \geq 4$

1. 次の計算をせよ。

(1)  $\frac{x^2-8x-20}{3x^2+5x-2} \times \frac{3x^2-31x+10}{x^3-2x^2-80x}$

(2)  $\frac{x^2-2x}{x^2-x-12} \div \frac{x^2-4}{x^2+5x+6}$

解答 (1)  $\frac{x-10}{x(x+8)}$  (2)  $\frac{x}{x-4}$

解説

(1) (与式)  $= \frac{(x+2)(x-10)}{(x+2)(3x-1)} \times \frac{(x-10)(3x-1)}{x(x+8)(x-10)} = \frac{x-10}{x(x+8)}$

(2) (与式)  $= \frac{x^2-2x}{x^2-x-12} \times \frac{x^2+5x+6}{x^2-4} = \frac{x(x-2)}{(x+3)(x-4)} \times \frac{(x+2)(x+3)}{(x+2)(x-2)} = \frac{x}{x-4}$

2. 次の式を簡単にせよ。

(1)  $\frac{\frac{1}{1-x} + \frac{1}{1+x}}{\frac{1}{1-x} - \frac{1}{1+x}}$

(2)  $1 - \frac{1}{1 - \frac{1}{1-x}}$

解答 (1)  $\frac{1}{x}$  (2)  $\frac{1}{x}$

解説

(1) 分子、分母をそれぞれ先に通分してしまう。そして、分子を分子÷分母と書きなおす。

(与式)  $= \frac{\frac{1+x+1-x}{(1-x)(1+x)}}{\frac{1+x-(1-x)}{(1-x)(1+x)}} = \frac{\frac{2}{2x}}{\frac{2}{(1-x)(1+x)}} = \frac{2}{(1-x)(1+x)} \div \frac{2x}{(1-x)(1+x)}$   
 $= \frac{2}{(1-x)(1+x)} \times \frac{(1-x)(1+x)}{2x} = \frac{1}{x}$

別解 分子分母に $(1-x)(1+x)$ をかけると、分子も分母も分数の形を回避できる。

(与式)  $= \frac{(1-x)(1+x)\left(\frac{1}{1-x} + \frac{1}{1+x}\right)}{(1-x)(1+x)\left(\frac{1}{1-x} - \frac{1}{1+x}\right)} = \frac{1+x+1-x}{1+x-(1-x)} = \frac{1}{x}$

(2) (与式)  $= 1 - \frac{1}{\frac{1-x-1}{1-x}} = 1 - \frac{1}{\frac{x}{x-1}} = 1 - \frac{x-1}{x} = \frac{x-(x-1)}{x} = \frac{1}{x}$

参考  $\frac{1}{\frac{x}{x-1}}$  は  $\frac{1}{\frac{x}{x-1}} = 1 \div \frac{x}{x-1} = 1 \times \frac{x-1}{x} = \frac{x-1}{x}$  となる

3. 次の計算をせよ。

(1)  $\frac{x}{x+1} - \frac{1}{x+2}$

(3)  $\frac{4}{x^2+2x-8} - \frac{5}{x^2+3x-10}$

(1)  $\frac{x^2+x-1}{(x+1)(x+2)}$  (2)  $\frac{2}{(x+1)(x+3)}$

(3)  $-\frac{x}{(x-2)(x+4)(x+5)}$  (4)  $\frac{3}{(x+2)(x+3)}$

解説

(1) (与式)  $= \frac{x(x+2)}{(x+1)(x+2)} - \frac{x+1}{(x+1)(x+2)} = \frac{x(x+2)-(x+1)}{(x+1)(x+2)} = \frac{x^2+x-1}{(x+1)(x+2)}$

(2) (与式)  $= \frac{1}{(x+1)(x+2)} + \frac{1}{(x+2)(x+3)}$   
 $= \frac{x+3}{(x+1)(x+2)(x+3)} + \frac{x+1}{(x+1)(x+2)(x+3)}$   
 $= \frac{2(x+2)}{(x+1)(x+2)(x+3)} = \frac{2}{(x+1)(x+3)}$

(3) (与式)  $= \frac{4}{(x-2)(x+4)} - \frac{5}{(x-2)(x+5)}$   
 $= \frac{4(x+5)}{(x-2)(x+4)(x+5)} - \frac{5(x+4)}{(x-2)(x+4)(x+5)}$   
 $= \frac{4(x+5)-5(x+4)}{(x-2)(x+4)(x+5)} = -\frac{x}{(x-2)(x+4)(x+5)}$

(4) (与式)  $= \frac{x-1}{(x+1)(x+2)} - \frac{x-3}{(x+1)(x+3)}$   
 $= \frac{(x-1)(x+3)}{(x+1)(x+2)(x+3)} - \frac{(x-3)(x+2)}{(x+1)(x+2)(x+3)}$   
 $= \frac{(x-1)(x+3)-(x-3)(x+2)}{(x+1)(x+2)(x+3)} = \frac{3(x+1)}{(x+1)(x+2)(x+3)}$   
 $= \frac{3}{(x+2)(x+3)}$

4. 次の等式が  $x$  についての恒等式であるとき、定数  $a, b, c, d$  の値を求めよ。

(1)  $(x^2-4x+a)(x+5)=(x-1)(x^2+bx+c)$

(2)  $x^3=a(x+1)^3+b(x+1)^2+c(x+1)+d$

解答 (1)  $a=3, b=2, c=-15$  (2)  $a=1, b=-3, c=3, d=-1$

解説

(1) 等式の両辺を  $x$  について整理すると

$x^3+x^2+(a-20)x+5a=x^3+(b-1)x^2+(-b+c)x-c$

両辺の同じ次数の項の係数が等しいから

$1=b-1, a-20=-b+c, 5a=-c$

これを解いて  $a=3, b=2, c=-15$ (2) 等式の右辺を  $x$  について整理すると

$x^3=ax^3+(3a+b)x^2+(3a+2b+c)x+a+b+c+d$

両辺の同じ次数の項の係数が等しいから

$1=a, 0=3a+b, 0=3a+2b+c, 0=a+b+c+d$

これを解いて  $a=1, b=-3, c=3, d=-1$ 5. 次の等式が  $x$  についての恒等式であるとき、定数  $a, b$  の値を求めよ。

$$\frac{a}{x+2} + \frac{b}{3x-1} = \frac{3x-8}{3x^2+5x-2}$$

解答  $a=2, b=-3$

解説

3  $x^2+5x-2=(x+2)(3x-1)$  であるから、等式の両辺に  $(x+2)(3x-1)$  をかけると、次の等式が得られる。

$a(3x-1)+b(x+2)=3x-8$

左辺を  $x$  について整理すると

$(3a+b)x-a+2b=3x-8$

両辺の同じ次数の項の係数が等しいから  $3a+b=3, -a+2b=-8$ これを解いて  $a=2, b=-3$

6. 次の等式が  $x, y$ についての恒等式となるように、定数  $a, b$ の値を定めよ。

$$x^2 + y^2 = a(x+y)^2 + b(x-y)^2$$

解答  $a = \frac{1}{2}, b = \frac{1}{2}$

解説

右辺を展開して整理すると、等式は

$$x^2 + y^2 = (a+b)x^2 + (2a-2b)xy + (a+b)y^2$$

両辺の各項の係数を比較して  $a+b=1, 2a-2b=0$

これを解いて  $a = \frac{1}{2}, b = \frac{1}{2}$

7. 等式  $(a^2+1)x + (a^2+2a)y - 2a + 1 = 0$  が、どんな  $a$  の値に対しても成り立つように、 $x, y$  の値を定めよ。

解答  $x = -1, y = 1$

解説

等式の左辺を  $a$  について整理すると  $(x+y)a^2 + 2(y-1)a + x + 1 = 0$

この等式が  $a$  についての恒等式であるための条件は

$$x+y=0, y-1=0, x+1=0$$

第2式と第3式から  $y=1, x=-1$

これは、 $x+y=0$  を満たす。

したがって  $x = -1, y = 1$

8.  $a : b : c = 2 : 3 : 4$  のとき  $\frac{ab+bc+ca}{a^2+b^2+c^2}$  の値を求めよ。

解答  $\frac{26}{29}$

解説

$$a : b : c = 2 : 3 : 4 \text{ から } \frac{a}{2} = \frac{b}{3} = \frac{c}{4}$$

$$\frac{a}{2} = \frac{b}{3} = \frac{c}{4} = k \text{ とおくと } a = 2k, b = 3k, c = 4k$$

$$\text{よって } \frac{ab+bc+ca}{a^2+b^2+c^2} = \frac{2k \cdot 3k + 3k \cdot 4k + 4k \cdot 2k}{(2k)^2 + (3k)^2 + (4k)^2} = \frac{26k^2}{29k^2} = \frac{26}{29}$$

9.  $a > 0, b > 0$  のとき、次の不等式を証明せよ。  $2\sqrt{a} + \sqrt{b} > \sqrt{4a+b}$

解答 略

解説

$$(2\sqrt{a} + \sqrt{b})^2 - (\sqrt{4a+b})^2 = (4a + 4\sqrt{ab} + b) - (4a + b) = 4\sqrt{ab} > 0$$

$$\text{よって } (2\sqrt{a} + \sqrt{b})^2 > (\sqrt{4a+b})^2$$

$$2\sqrt{a} + \sqrt{b} > 0, \sqrt{4a+b} > 0 \text{ であるから } 2\sqrt{a} + \sqrt{b} > \sqrt{4a+b}$$

10. 次の不等式を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。

$$x^2 + y^2 \geq 2(x+y-1)$$

解答 証明略、等号が成り立つのは  $x=y=1$  のとき

解説

$$(x^2 + y^2) - 2(x+y-1) = (x^2 - 2x + 1) + (y^2 - 2y + 1) = (x-1)^2 + (y-1)^2 \geq 0$$

$$\text{よって } x^2 + y^2 \geq 2(x+y-1)$$

等号が成り立つのは、 $x-1=0$ かつ $y-1=0$ 、すなわち  $x=y=1$  のときである。

11.  $a > 0, b > 0$  のとき、次の不等式を証明せよ。  $\frac{b}{3a} + \frac{12a}{b} \geq 4$

解答 略

解説

$$a > 0, b > 0 \text{ のとき, } \frac{b}{3a} > 0, \frac{12a}{b} > 0 \text{ であるから, (相加平均) } \geq \text{(相乗平均) } \text{により}$$

$$\frac{b}{3a} + \frac{12a}{b} \geq 2\sqrt{\frac{b}{3a} \cdot \frac{12a}{b}} = 2\sqrt{4} = 4 \quad \text{よって } \frac{b}{3a} + \frac{12a}{b} \geq 4$$

（等号が成り立つのは、 $\frac{b}{3a} = \frac{12a}{b}$  すなわち  $b=6a$  のときである。）